



# 平成三十年度 施政方針

石垣市長 中山 義隆

## はじめに

私は、『日本一幸せあふれるまち石垣市』を  
目指し、2期8年、市民にお約束したマニフェ  
ストを実現するために、職員と一丸となって全  
力で取り組んでまいりました。

昨年は、市制施行70周年の節目の年でありま  
した。15年ぶりに開催しました「石垣市民大運  
動会」では、多くの市民が集い、様々な種目に  
汗を流し、地域の交流と絆を深めることができ  
ました。様々な記念事業をおして、市民の皆  
様が心一つにして、次の10年に向け、新たな  
一歩を踏み出すことができました。



また昨年は、入域観光客数が、大都市圏から  
の直行便数の増加や国内外の航空就航路線の拡  
大、クルーズ船の寄港数の増加に伴い、約13  
7万6千人と過去最高を記録しました。

世界最大の旅行サイトである、トリップアド  
バイザーの「口コミで選ぶ、人気急上昇中の光  
都市2018」においては、石垣島が世界ラン  
キング1位に選ばれるなど、観光地としての石  
垣ブランドの認知度は、国内外において着実に  
高まってまいりました。

更に、観光産業のみならず、本市の経済は着  
実に発展しており、市民所得は、平成22年の2  
06万円から、平成26年には219万5千円と、  
13万5千円増加しております。

私は、多くの市民の皆様から負託を頂いたこ  
れからの4年間において、これまでの本市経済  
の発展の流れを止めることなく、「ひとが輝き、  
まちに活力と、くらしが豊か」になるよう持続  
可能なまちづくりにしつかりと取り組んでまい  
ります。

「観光は平和へのパスポート」です。本年、  
設置から30周年を迎える「世界平和の鐘」を「全  
世界へ平和を発信する場」として、より一層平  
和の推進に取り組んでいくとともに、国際的な  
人的交流を進め、アジアを結ぶ国際交流結節点

として国際観光の振興を図ってまいります。  
平成30年度は、新たに国際交流支援員を配置  
し、異文化の理解を深め交流する機会をつくっ  
てまいります。

子育て支援については、課題となっている待  
機児童解消に向け、引き続き、保育士確保の取  
組みを継続するとともに、幼保一元化を推進す  
るため、福祉部内に「こども未来局」を設置し、  
就学前教育と保育の質の向上、地域子育て支援  
体制を構築してまいります。

子どもの貧困対策については、ひとり親家庭  
の状況を踏まえ、生活支援の一つとして、新た  
にひとり親家庭への家賃補助や生活支援コー  
ディネーターの設置など、ひとり親家庭環境支  
援策に取り組んでまいります。

また、ひとり親家庭が抱える悩みや課題に対  
し、母子父子自立支援員の配置を行い、相談支  
援体制の充実と安心して子育てができる環境を  
整えてまいります。

現市役所庁舎移転後の跡地利用について、平  
成29年度は、市街地の賑わい創出の観点から、  
現庁舎等跡地に求められる機能や課題を整理す  
るため跡地利用計画の策定に着手しました。平  
成30年度は同計画の策定を行い、具体的な跡地  
利用の事業着手に向け取り組んでまいります。